

CALS/EC(きやるす いーしー)って?

今、福岡市役所は電子市役所に向け進んでいます。
その一翼を担う「CALS/EC(キヤルス/イーシー)」もまた、歩みを始めました。

まずは、「CALS/EC」とは何なのかについてですが、

Continuous Acquisition and Life-cycle Support /
Electronic Commerce のことです。直訳すると、「継続的な調達とライフ
サイクルにわたる支援/電子商取引」ということになり、「公共事業支援統合情報シス
テム」の略称です。

これでは余計に分かりにくいので、より具体的に説明します。

「CALS/EC」とは公共事業に関する調査、計画、設計、入札、施工、検査及び維持
管理で発生する各種情報を電子化してコスト縮減、品質向上、事務の効率化等公共事業
全体のIT化を目指すものです。言い換えれば、公共事業に関する全てが、パソコン等
によるデータのやり取りにより、紙を使わずに行われることとなります。

都道府県、政令指定都市については2007年度、市町村においても2010年度本格導
入を目途として、現在全国的に動き出しています。

福岡市においても「福岡市 CALS/EC 推進専門部会」と3つの作業部会(「電子調達
作業部会」、「電子設計・納品作業部会」、「施工・保全・計画作業部会」)を作り作業を
進めています。

さて、今後どうなるのかということについてです。

「CALS/EC」の実施に伴い、当然のことながら各種情報は電子化する必要がありま
す。そのため、入札情報を得たり、入札に参加したり、工事終了後の資料を提出したり
するために、パソコンを使いこなしていく技術が必要不可欠となってきます。

その代わりに、何度も役所に行く必要もなく、紙代、交通費の節約になります。

ちなみに、「CALS/EC」のコスト削減総額は、地方公共団体等も含めると年間2000
~3000億円(国土交通省試算)とも言われております。

皆様のご協力をお願いします。